

さわやかな汗よ、笑顔よ、友情よ！

●●●●● 第1回伊賀市障害者スポーツ大会 ●●●●●

10月15日、すばーく阿山（川合）で「第1回伊賀市障害者スポーツ大会」（伊賀市、伊賀市障害者福祉連盟主催）が開催され、市内の障害者施設などを利用されている方や障害者連盟に加入されている方、計384人が参加しました。

この大会は、昨年まで旧市町村でそれぞれに開催していましたが、障害者福祉連盟が合併されたことにより、今年初めて伊賀市全体での開催となりました。

競技は、大まり送りや車いす競走、玉入れや綱引きなどの10種目で、参加者は清々しい汗を流しながら競技を楽しみました。また、このスポーツ大会開催の目的でもある、障がい者同士の交流や親睦を深めることもできたと参加者は満足されていました。

競技に先駆けて行われた開会式では、自らの障がいを克服し自立更生された方などに対し、伊賀市助役、障害者福祉連盟会長から表彰状が贈呈されました。



市役所で社会見学

●●●●● 県立養護学校伊賀つばさ学園社会見学 ●●●●●



10月12日、県立養護学校伊賀つばさ学園中学部の生徒23人が、社会見学で伊賀市役所を訪れました。

生徒たちは、市民生活課、市議会議場、市長室、教育委員会を中心に庁舎内を見学してまわり、市役所では、どんな仕事をしているのかを調べました。

議場では、市議会事務局次長から市議会についての説明を聞き、議長席や議員席に座るなどして、議会の様子を疑似体験していました。

生徒たちは、「議長になった気分だなあ」「議場って大きいな」という感想を話していました。

廃材を利用して

●●●●● 第2回環境セミナー ●●●●●

9月30日、三重県上野森林公園の研修棟で第2回環境セミナーが行われました。今回のセミナーでは、廃材を利用してプランターや植木鉢を入れるポットを作りました。

参加者は「材料をのこぎりで切って用意すると難しいけれど、用意があったので楽しく作れました」と語ってくれました。

出来上がったポットは最後にガスバーナーで焼付けをし、きれいに仕上がりました。

セミナーの担当職員は「今回は廃材を用意しましたが、家では捨てる木材などを利用して作っててください」と話しました。





音楽を通じて国際交流

●●●● 青山国際交流協会秋のコンサート ●●●●

10月1日、青山国際交流協会の秋のコンサート「Herbst Konzert」が青山ホールで行われました。

このコンサートにはスイス在住のチェロ奏者レヘル・ドナートさんが招かれ、名張市出身のピアノ奏者大喜多美帆さんとの共演で3曲を披露してくれました。また、伊賀市出身のクラリネット奏者菅生千穂さんと美帆さんの姉でピアノ奏者の大喜多里枝さんとのセッションもありました。姉妹ピアノデュオとしても演奏活動をしている里枝さん・美帆さんは、最後にピアノ連弾で演奏しました。

会場に訪れた人々は、ホールに響き渡る優美なメロディーに聞き入っていました。

防犯パトロールで地域住民を守る!

●●●●● 青色回転灯装着車出発式 ●●●●●

9月29日、阿山支所駐車場で青色回転灯装着車による防犯パトロール出発式が行われました。

防犯パトロールを実施する河合地域住民自治協議会は、住民の安全・登下校時の子どもたちを不審者から守ることを目的に河合地区を週2回巡回します。

式には、内保助役や伊賀警察署長、協議会会員など約50人が参加し、伊賀警察署長から協議会会長へ青色回転灯装着車許可標章が伝達されました。式後、会員が青色回転灯装着車に乗車し、パトロールを開始しました。



110秒・110日の挑戦

●●●●● 第20回全国消防操法大会 ●●●●●

伊賀市消防団では7月22日の三重県消防操法大会にポンプ車の部で優勝し、10月19日、第20回全国消防操法大会（兵庫県三木市）に出場しました。大会に向け選手9人が4月10日から110日間にわたる厳しい訓練を行いました。操法開始から標的（火点）が倒れるまで第1線50秒・第2線60秒を目標に選手や消防団員などが一丸となって大会に臨みました。

結果は、第1線52秒08、第2線59秒56で目標であった10位以内には入ることができませんでしたが、選手たちは今までの訓練を通して、消防団の士気高揚、団結力、協調性を学ぶことができました。



お城の庭木を美しく

●●●●● 庭木の整枝剪定講習会 ●●●●●



10月4日に上野公園で、庭木の整枝剪定講習会が開かれました。

この講習会は緑化推進のひとつとして庭木づくりに対する関心と、樹木への親しみを深めることを目的に開催されました。

参加した人たちは、講師の説明を熱心に聞きながら整枝剪定の技術を学びました。